

from ボランティアセンター

ボランティアセンター

月～金曜日 午前8時半～午後5時15分



042-475-0739

災害ボランティア情報:ホームページ、メール配信にて随時お知らせしています。

参加者募集 にじメディア上映イベント

弱さにある希望を表現する映像メディア

Vol.3,4「そらくんとたからくん」

自閉症の兄弟2人の日常を記録した映像から、これからの社会を考える
(令和2年度社協地域協働事業)

日時	① 2月12日(金) 午後7時～9時 ② 3月 6日(土) 午後2時～4時
会場	中央町地区センター2階 第3・4会議室(中央町6-1-1) ※駐車場はありません。 公共交通機関、もしくは近隣の有料駐車場をご使用ください。
内容	第1部 映画上映 第2部 トークショー 第3部 トークショー出演者への質疑応答



新型コロナウイルス感染症防止のためのお願い
(会場参加の場合)

- 当日は事前に検温と体調の確認をお願いします。風邪などの症状がある場合、会場参加はご遠慮ください。キャンセルの場合は、事前にご連絡をお願いします。
- マスクを着用の上、ご参加ください。

【トークショー出演者】

- 東久留米市商工会 事務局長 岩崎 哲二さん
- 一般社団法人みんなの大学 学長 引地 達也さん 他

【参加方法】

- ①会場参加(要予約)
 - ②オンライン参加
- ※新型コロナウイルス感染拡大状況により、会場参加を中止する場合があります。詳細はFacebookをご覧ください。

【参加費】

会場参加の場合のみ500円(当日会場で支払い)

- 【申し込み方法】
- 1専用回答フォームから申し込み ▶▶▶ <https://bit.ly/niji-sanka>
 - 2イベントサイト「Peatix」から申し込み ▶▶▶ <https://nijimedia-vol1-4.peatix.com>
 - 3電話で申し込み ☎042-458-0712(齋藤)



1.専用回答フォーム 2.イベントサイト「Peatix」 にじメディア Facebook

主催

にじメディア制作委員会、東久留米市社会福祉協議会

上映イベントに関する問い合わせ

にじメディア制作委員会 ☎042-458-0712

地域協働事業に関する問い合わせ

ボランティアセンターへ

令和2年12月に実施したVol.1の参加者からは、「日常の生活を描くステキな映画でした!!」(30代・女性)「障がいのある人が何をしたいか、選択肢が広がる社会にしていきたいと思いました。」(50代・女性)といった感想が寄せられるなど、2人の日常風景を通して「障がい」を考え直すきっかけとなる作品です。ぜひご覧ください。

令和3年度 ボランティア保険について

社協で加入を受け付けているボランティア保険について、令和3年度から保険料が改定されます。

【改定内容】

- ①Aプラン(基本コース)の保険料の引き上げ
令和3年度 350円
- ②Aプラン(基本コース)以外のコースの補償金額変更

※詳細は(有)東京福祉企画ホームページをご覧ください。
<https://bit.ly/37Dxqyu>

※令和3年度の受付は、3月中旬以降開始予定です。
受付窓口: 社会福祉協議会(平日のみ)
中央町地区センター(火曜・祝日休館)



報告

令和2年度 ボランティア連絡会

去る1月13日(水)、ボランティアセンターに登録している個人・団体同士の情報交換や横のつながりづくりを目的に開催しました。

当日は、5団体8人が参加。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動を中止・縮小せざるを得ない中で、現在の活動状況や、工夫について情報交換を行いました。

また、今回は会場参加とZoomミーティングによるオンライン参加を併用したハイブリッド型で開催しました。

コロナ禍では、これまでのような会議・イベントの開催は難しいですが、ボランティアセンターでは、今後オンラインも活用しながら安心・安全な活動を推進していきます。



ボランティア通信を置いてください!

ボランティア通信は市内のボランティア活動を推進するために発行している広報紙で、現在は公共施設・店舗・福祉施設等のご協力により77か所まで入手できます。

- ◆発行回数 年5回
- ◆発行部数 1,600部程度

ご協力くださる方は、ボランティアセンターまでお知らせください。



〈地域福祉コーディネーター事業〉

ちょっと気になる 身近な困りごとは 地域福祉コーディネーターへ

たとえば

こんなことはありませんか?

- 窓口まで相談に行くことができない...
- こんなことで相談してもいいのかしら?
- 心配な人がいるけどどうしたらよい?

ささいなことでも大丈夫です
訪問もしています
まずはお電話ください

☎042-475-0739
(ボランティアセンター)

★一人ひとりのご相談を受けとめ、解決に向けてお手伝い(個別支援)

訪問などにより様々なご相談を受けとめ、福祉課題の早期発見に努めます。また、既存の制度にあてはまらない課題に対して、専門機関への橋渡しや協働での解決をすすめます。

- (主な相談例)
- 社会保険等の情報提供
 - 生活困窮
 - 就労や生活支援
 - ひきこもり相談 など

★「誰もが住みよいまち」をつくるための「仕組みづくり」をお手伝い(地域支援)

地域住民や関係機関、行政などと地域の福祉課題を一緒に考え、話し合い、解決に向けて取り組む仕組みづくりをすすめます。

市受託事業として西部地域(小金井街道西側の地域)に地域福祉コーディネーター1名を配置しています。

ご案内 お話を聞くだけでもかまいません お気軽にご参加ください ～ひがしくるめ ひきこもり家族会準備会～

家族が学校にいけない、家にこもっている、仕事をしていない、関わり方がわからない...悩んでいるのはあなただけではありません。同じ悩みを抱える方が思いを語り、安心してつながれる家族会の立ち上げを支援します。



日時 2月14日(日)、3月14日(日)

いずれも午後2時～4時(午後1時半受付、入退室自由)

【会場】中央町地区センター2階 第3・4会議室(中央町6-6-1)

【対象】市内在住のひきこもり状態にある方の家族

【定員】20人(各開催日の4日前までに申し込み)

【内容】参加者同士の交流、情報提供

【参加費】無料

【申し込み】電話、ファクス、メール、申込フォーム
<http://bit.ly/prekazokukai>にて、専用申込フォーム
①氏名(ふりがな) ②年代 ③連絡先をお知らせください。



上記イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止する場合があります。最新の情報は社協ホームページをご覧ください。

〈連絡先・問い合わせ〉市地域福祉コーディネーター事業
(社会福祉協議会ボランティアセンター)

☎042-475-0739 ☎042-476-4545
メール volunteer@higashikurume-shakyo.or.jp

〈参加者の声〉

- ★家族の心配は共通だと改めて思った。
- ★相談は友人だけだったが、悩みを共有できる方々と話げできた。
- ★他の人の気持ちとか聞けて良かった。自分の気持ちが話せた。
- ★支援者がいて心強く思った。勇気を出して参加してよかった。

報告

小地域福祉活動事業計画(令和2年～6年)策定

暮らしに身近なところで誰もが差別や排除をされず、お互いに声をかけあい、困りごとを解決する地域づくりをすすめます

地域生活の中では、各種の福祉制度やサービスの充実が図られたとしても、生活上の困りごとに対して活用されていない場合や、既存のものでは対応できず、制度の狭間に置かれてしまうなど様々な困りごとがあります。社協では、暮らしの中で見えなくなりしがちな

困りごとを地域で解決できるように、市内3地域(東部・中部・西部)に担当職員(コミュニティソーシャルワーカー)を配置。ちょっとした困りごとを早期に発見できる活動や見守りの仕組みづくりを計画的にすすめるため、新たに事業計画を策定しました。

東部地域
(宮田・藤野・中迫)

住民と近隣の社会福祉法人による支え合い(生活支援)事業の立ち上げ、誰もが参加できる拠点(居場所)づくり(大門町)

中部地域
(大橋・秋山)

孤立する人(世帯)に情報を届け、地域とのつながりをつくる(中央町、幸町)

西部地域
(岡野・天野・児玉)

防災と地域福祉をテーマにした集まりの場の立ち上げと運営支援(前沢5丁目、滝山3・4・5丁目)

計画で定めた地域を中心に、地域みんなで困りごとを共有し、解決すべき課題を明らかにした上で関係機関や行政とも役割分担をしながら課題解決に取り組めます。コロナ禍であっても、創意と工夫でつながりを途切れさせない活動(オンラインサービスの活用等)も積極的に支援します。

※各事業計画等の詳細はホームページや事務局窓口でも閲覧できます。

【問い合わせ】小地域福祉活動 担当 ☎042-475-0739

